

1. 件名：福島第一原子力発電所陸側遮水壁におけるブライントank水位低下に係る面談
2. 日時：令和2年1月9日（木）13時30分～14時10分
3. 場所：原子力規制庁9階会議室
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室  
知見主任安全審査官、松井安全審査官、田上係員  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 担当3名

## 5. 要旨

東京電力ホールディングス株式会社から、令和元年12月26日に発生した福島第一原子力発電所の陸側遮水壁におけるブライントank（2A/2B）の水位低下事象について、資料に基づき説明があった。

### ➤ 事象の概要及び対応に係る時系列

- ✓ 令和元年12月27日に凍結管1890-6Tよりブラインが漏えいしていることを確認し、ヘッダー管送り側のバルブの閉操作を実施。当該操作によりブライントankの水位低下は停止。
- ✓ 12月31日より再びブライントankの水位が低下傾向にあることを令和2年1月4日に確認。
- ✓ 1月6日に凍結管1890-6Tより再びブラインが漏えいしていることを確認。ヘッダー管戻り側のバルブの閉操作を実施し、当該凍結管を隔離。
- ✓ 当該操作後もブライントankの水位低下傾向が継続したため、1月8日に当該凍結管を含めた37本の凍結管にブラインを供給しているヘッダー配管のバルブの閉操作を実施。
- ✓ 1月9日にブライントankの水位低下が停止。

### ➤ 凍結管1890-6Tにおける漏えい箇所

原子力規制庁は、上記の説明内容を確認するとともに、ブラインの漏えい箇所の調査結果、漏えいの発生原因及び漏えい箇所に対する対応についてまとめ次第報告することを求めた。

## 6. その他

### ・資料：

- 福島第一原子力発電所 陸側遮水壁におけるブライントank水位低下について